

Cente Technical Information

発行番号	101-0110	Rev	第1版	発行日	2020/01/10
題名	メタデータ保護機能無効時、FS_FERAMマクロが未定義になる不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.00 ~ Ver6.41				
影響API	影響APIはありません。				
関連資料	なし				

【現象】

メタデータ保護機能を“無効”(FS_JOURNALマクロが“0”の場合)にすると、コンパイル時にFS_FERAMマクロが未定義のウォーニングが発生します。FS_FERAMマクロは、メタデータ保護機能が“有効”の場合にのみ使用され、“無効”の場合は未使用のため、未定義のウォーニングが発生した状態で動作しても、処理に影響を与える事はありません。
※コンパイラ依存のため、ウォーニングが発生しない場合もあります。

【原因】

FS_FERAMマクロは fs_journal.h に定義しており、メタデータ保護機能が“有効”の場合のみ、使用できるようになっております。
ですが、fs_fat.c の712行目付近に定義している関数set_fsinfo_sub()では、メタデータ保護機能が“無効”の状態でも関わらず、FS_FERAMマクロを#ifのプリプロセッサに使用しておりました。

【回避方法】

- プログラムによる回避方法
修正ソースにつきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上